平成 23 年 12 月 15 日

国際石油開発帝石株式会社

ブラジル、フラージ鉱区近傍における油流出関連［第七報］
ブラジル検察当局による損害賠償請求報道について（お知らせ）

平成 23 年 11 月 24 日にお知らせしましたフラージ鉱区近傍の海上における油流出に関連し、ブラジル検察当局による損害賠償請求に関する一部報道について、プロジェクトオペレーターのシェブロン社からの情報及び同社の対応は以下の通りです。

- ブラジル検察当局より今回の油漏洩による環境被害に関して、シェブロンやその他の会社に対し 200 億レアル（107 億ドル≒約 8,300 億円）の損害賠償請求を行い、また操業停止命令が出たとの報道がありましたが、シェブロンはこれに関する正式な通知を受けておりません。また、操業停止についても監督官庁からの指示を受けておりません。
- シェブロンは今回の事故に際し、事故発見から適切に対応しており、ブラジル当局と共に透明性の高い処理を行ってきております。
- 油漏洩の原因は速やかに対処され、4 日間のうちに油のしみ出しは収まっており、継続して微量の油の流出の封じ込め作業も行っています。
- 海上の油膜は、0.16m3（1bbl）以下まで回収されており、海岸や野生生物への影響は確認されておりません。

今後もシェブロン社と連携しつつ、同社からの更新情報が入りましたら、逐次お知らせいたします。

以上

【本件に関する問い合わせ】
国際石油開発帝石株式会社　　広報・IR ユニット　　03-5572-0233